

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	施設を中心とした地域住民との往来は年々充実してきている感じはあるものの、利用している方の思い出の場所や懐かしい方との交流は年齢と共に衰退している傾向にあるため、馴染みの関係を再構築していく必要がある。	家族の協力を得ながら、馴染みの環境を整えていく。	利用者のアルバムや年賀状などを元に、馴染みの場所や関係を再構築し、全員が一度は訪ねることができるよう、ケアプランに計画していく。	1年
2	54	利用者によってはもっと自由な空間が必要としている方もおり、疲れたときや眠れない夜に施設として制限するのではなく、遠慮のない自室としての環境が必要である。	疲れたときや眠れない夜に、管理的にならないよう、自由な環境を整えていく。	自宅で使っていた馴染みの物を増やす。眠れないときに自室で本を読んだり、眺めたりできるアルバムを整理していく。	6ヶ月
3					
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。